

○ 本とりまとめのねらい

【位置付け】

持続可能な国土の利用・管理を推進するための課題とその対応策について、第2次国土形成計画や第5次国土利用計画（全国計画）（いずれも平成27年8月閣議決定）に位置づけられた「複合的な効果をもたらす施策」や「選択的な国土利用」という視点も踏まえつつ、地域における取組事例から得られた教訓を中心に分類・整理したもの。

【主な対象者】

市町村・地区レベルで持続可能な国土の利用・管理のあり方に悩んでいる住民及び行政担当者を想定。

【ねらい】

地域住民・行政担当者が持続可能な国土の利用・管理に向けて、地域の土地の使い方を改めて考え、取組を推進するための指針となることを目指す。

特殊な条件や特別なプレイヤーの存在を前提とした「ベストプラクティス」のみではなく、一般的な地域・集落でも可能な解決策をあらゆる地域・集落に普及していくことを意識。

○ 持続可能な国土利用・管理に向けたステップ及び課題と解決の方向性

ステップ①：自分たちの暮らす地域について改めて考えてみる

課題：土地の現状の把握・共有

土地所有者・境界の把握

活用可能な自然環境や地域資源の把握

GIS等を活用した実態の共有と「見える化」

ステップ②：土地の使い方を選擇する

課題：地域に適した土地の使い方の選択

従来の
使い方
で
積極的
に
維持・回復

従来の用途
を踏まえた
用途の追加
やアレンジ

新たな用途
を見出し
土地利用を
転換

課題：様々な視点からの効果を意識した土地の使い方の選択

自然共生 国土管理 地域づくり 防災・減災

「景観創出」×「農地維持」×「移住促進」×「防災・防犯」

「自然再生」×「未利用地の活用」×「観光振興」

イメージ

ステップ③：実現に向けた具体的なアクションを実行する

「人（主体）」の視点

課題：人（主体）の確保と維持

内外の人材や活動組織の確保

専門的な人材の確保

動機付けとモチベーションの維持

課題：主体間の役割分担と意識の共有

役割分担の明確化

多様な主体間の意識のすり合わせ

役割分担を調整する人材の確保

「土地」の視点

課題：土地所有者との合意

選択した土地の使い方の意識共有

土地所有者との合意形成

地域住民と土地所有者の間の利害調整

※「土地」の視点からは、このほか上記のステップ①及び②に関する課題も存在

「仕組み」の視点

課題：国土の国民的経営の推進と国土管理活動の収益化

国土の国民的経営の推進

国土管理コストの縮減

複数の「小さな利益」の確保

ICTを活用した省力化・合理化

課題：公的な資源等の有効活用

大学・NPO・公的機関等の知恵の活用

関係部局の特性や利用可能な公的支援の把握

部局横断的対応等の促進

公的支援の有効活用

※ ステップ③で示した課題は、ステップ①及び②の過程で生じる場合もある。

計画の共有・推進等による継続性の担保

合意内容を継続させるための活動の実施や体制の構築

国土利用計画をはじめとする法定計画の有効活用

○ 残された課題

【持続可能な国土の利用・管理を国土全体への展開】

- ・ 持続可能な国土の利用・管理を国土全体に広げていくための方策の検討
- ・ ガイドラインの策定等を通じた分かりやすい情報提供、説明会の開催等を通じた普及啓発

【適切な管理を続けることが困難な土地への対応】

- ・ 今後加速度的に増加することが懸念される適切な管理がなされていない土地の現状や対応状況の把握
- ・ 鳥獣被害や虫害等の地目を超えた外部不経済も含め、土地の管理状況と外部不経済に関する因果関係の把握
- ・ 管理主体のあり方、外部不経済が生じない条件を含めた「適切な管理」のあり方の検討

【その他】

- ・ 「2017年とりまとめ」等も活用した国土利用計画（市町村計画）の策定支援

など